



アンコールクライマーズネット (ACN) ニュースレター

by Angkor Climbers net

アウトドア総合ブランド (株) モンベル、アウトドアギヤ輸入販売 (株) ロストアローより賛同・支援をいただいています。

<http://www.angkorclimbers.net/>

2012/12/31 第11号

シエムリアップ・ユース・クライミング・フェスティバル (YCF)



クライミング・コンペティション・Angkor Cup 12/16, 2012 終了

ご協力ありがとうございました。

主催

アンコール・クライマーズ・ネット カンボジア・クライミング連盟

次回 Angkor Cup は、2013年12月15日(日)に予定されました！！

YCFのクライマックスとなったコンペアンコールカップは予定通り12月16日に開催。選手、スタッフ、ゲスト、ボランティア、様々な関係者を入れて、この名簿が一同に会した。



(上)ファイナルをただ一人完登して女子総合優勝となったチェンダ(16才)

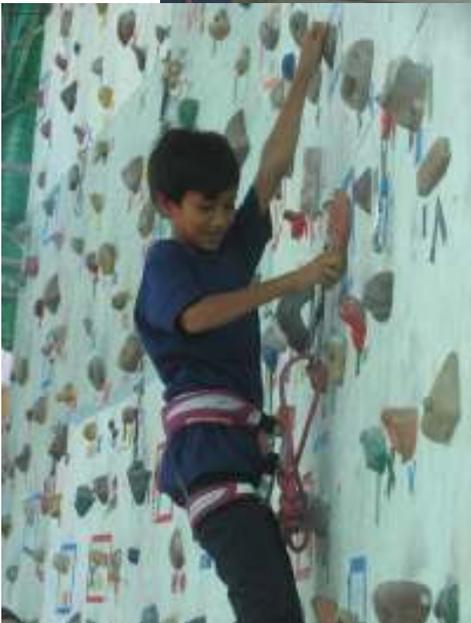


前回に続き男子総合優勝を決めたセイハ(17才)のスーパーファイナル(下)



← これがアンコールカップ！！







謝辞

●後援

ー 下記の団体から後援を受けた。お礼申し上げます。

- ・(カンボジア)カンボジアオリンピック委員会(NOCC)、シエムリアップ州教育青年スポーツ局(DoEYS)、シエムリアップ州
- ・(日本)日本勤労者山岳連盟(JWAF)、日本山岳協会(JMA)、東京新聞出版局、山と溪谷社

●協賛

ー 下記の団体から協賛いただいた。お礼申し上げます。

- ・(カンボジア他)モロッポーカフェ(ビール券ご提供)、ローユューユー・ポッターリーセンター(クメール陶器・アンコールカップご提供)、プロリンクマエ・ウィービング・トレーニングセンター(クロマーご提供)、アントレプリーズ・アジア(香港、ホールド等ご提供)、シンガポール・クライマーズ・アソシエーション(シンガポール、ホールドご提供)、FSUN ツーリスト+Chai マ

ッサージ(マッサージ券ご提供)、The City ゲストハウス(開催場所の電気、水道ご提供)、ブルーミングツアー(ご協力)、小さな美術スクール(ソフトドリンクご提供)

- ・(日本)モンベル(リュックサックその他ご提供)、ロストアロー(クライミング装備ご提供)、パウダーガイド社(運営費ご寄付)、クライミングセンター・アートウォール(ウォール施工関連備品ご提供)、クライミングジム・ビッグロック(ご指導)、佐久平ロッククライミングセンター(クライミング装備ご提供)

ワークショップ報告

ワークショップは、10/21(日)の第一回目から、AngkorCup のプレ予選が行われた 12/9(日)までの期間中、合計 7 回実施された。シエムリアップ市内及び、周辺から任意に15の小中高校をピックアップして招待した。招待校、及び参加人数は表の通りである。

ー 招待校一覧表 ー

| NO. | 学校名 | 種別 ※1 | エリア | ゾーン ※2 |
|-----|-------------------|-------|----------|--------|
| 1 | Preah en Kosa | Jr. | SiemReap | B |
| 2 | Wat Chek | Jr. | SiemReap | B |
| 3 | Hun Sen Kros | | SiemReap | B |
| 4 | Cosmo | High | SiemReap | B |
| 5 | Samdeck Euv | | SiemReap | B |
| 6 | Hun sen Siem Reap | | SiemReap | B |
| 7 | Angkor | High | SiemReap | B |
| 8 | 10 Makara | High | SiemReap | B |
| 9 | Hun sen Wat Svay | | SiemReap | C |
| 10 | Wat Polaingka | | SiemReap | B |
| 11 | Svay Thom | | SiemReap | B |
| 12 | Bakong | High | Bakong | C |
| 13 | Banteay Chas | Jr. | SiemReap | B |
| 14 | Mok Neak | Jr. | SiemReap | B |
| 15 | Phom Thnal | Jr. | SiemReap | B |

※1: 小中高校別。無しは、同一校に小中高学年が存在する

※2: ゾーン 交通費支援の金額を AW からの距離で A~C にゾーニングした、A:3km 以内、B:5km まで、C:5km 以上

ー ワorkshop参加生徒数一覧表 ー

| NO. | 日付 | 参加人数 | | | 合計 |
|-----|----------------|-----------|-------------------|---------------|------------|
| | | Workshop | Advanced Workshop | Kids Workshop | |
| 1 | 10/21(日) | 7 | — | — | 7 |
| 2 | 10/27(土)、28(日) | 6 | 17 | 4 | 27 |
| 3 | 11/3(土)、4(日) | 22 | 10 | 6 | 38 |
| 4 | 11/10(土)、11(日) | 11 | 14 | 9 | 34 |
| 5 | 11/17(土)、18(日) | 18 | 8 | 13 | 39 |
| 6 | 11/24(土)、25(日) | 7 | 10 | 3 | 20 |
| 7 | 12/8(土)、9(日) | 12 | 11 | 5 | 28 |
| | 計 | 83 | 70 | 40 | 193 |



↑、プノンペンから来てくれたボランティア講師、サム

Angkor Cup 2013 (クライミング・コンペティション)報告

・気候条件

晴れ、気温22℃～32℃。無風。午後の陽射しは、12月とはいえ強烈だった。

・エントリー

夜明け間もない6:15に会場であるAWをオープン、6:45より受付を開始。エントリーした選手はOPENクラス(自由参加、TR、3本フラッシュの競技)が25名、CCFクラス(カンボジアクライミング連盟登録選手、リード、予選、準決勝がフラッシュ、決勝以降はオンサイト)が、12名、合計37名となった。

・運営体制

ACN スタッフ、メディカルチーム(医師)、セキュリティチーム(州警察)、通訳、カメラクルーなどを入れて、14名、さらにビレーボランティアにオーストラリア人2名、アメリカ人1名、日本人1名、選手、関係者、家族を含めると、会場のAWIには70名ほどが一同に会した。またCCFクラスの表彰式に、CCF代表であり、本大会の後援組織でもある、シェムリアプ州教育青年スポーツ局局長のウンスレディ氏が駆けつけ、スピーチと、プレゼンターをお願いした。

・リザルト

7:30より競技を開始。CCFクラス男子は4名の同点が出て超決勝となり、15:00全競技を終了。結果(CCFクラスのみ)は下記の通り。

男子総合優勝 Sor Seyha (17歳、カンボジア人) 超決勝ルート5.12b

女子総合優勝 Ghenom Chhenda (16歳、カンボジア人) 決勝ルート5.11b

なお、各総合優勝者には、ローユーユーが設計製作、ACN ロゴがレリーフとなったオリジナルセラミックカップ、'AngkorCup' が贈られた。



・エキシビションについて

今回新たに設けたエキシビションプログラムでクライミングのデモを披露された下記の方々にお礼申し上げます。

- 70歳超の女性クライマー、中江恵美子様
- アキラ地雷博物館から、地雷で片足を失ったピサイ君、片手を失ったアラ君
- カンボジアNGO元祖モーガン一家の10オリキちゃん和9オデビ君(トップロープスピード競技)
- ビレイボランティアのジェームス&ステフ夫妻(オーストラリア)、Ms. マリー(アメリカ)
- ルートセット等のテクニカルアドバイザー浅井和英様

・プンペンポスト

12/7の同新聞誌上にてアンコールカップが1/2ページカラーで紹介された(右の写真)。プンペンポストはカンボジアの最大手英字新聞。



アウトドア・クライミング・ツアー報告

11/24(土)と12/23(日)の2回予定していたが、参加希望人数の都合で、後者のみ実行。シンボンで、午前中を「神々の寝床」エリア、午後を新しいエリア、「トリプルB(3B, Broken Byon Buttress)」で行った。

活動報告 2012/9～12



●9月・アダムス・クライミング・スクール(ラオス)との交流会

ラオス・バンビエンで最初のクライミングスクールを作ったアダムこと、サントン・ニッセルト氏が、9月19日～25まで、シェムリアプに滞在し、ACN-YOUTHとクライミングを楽しんだ。これを機会に、YOUTHの交換留学案がどちらからともなく提案された。また、アダムス・クライミング・スクールとは今後も様々な面で協力しあうことで一致している。

●9月・AWTトイレ新設、及び、電気引き込み工事

長く懸案だったAWのトイレ問題に終止符。ウォール裏面南側にクマエスタイルのトイレを作った。水は南側隣地のソーさん宅より引かせていただいた。また、電気もソーさん宅より分岐させていただき、子メーターで毎月従量計算してソーさんへ支払う取り決めた。

のソーさん宅より引かせていただいた。また、電気もソーさん宅より分岐させていただき、子メーターで毎月従量計算してソーさんへ支払う取り決めた。



●10月・ウォール施工トレーニング

アントレプリーズ・アジアから、ウォールデザイナーが、10/10～10/15、クライミングウォールの施工指導に訪れた。シエムリアップ市内のスクールから子供用のボルダリングウォールを作りたいとの要望を受け、実現を検討する過程で、同社からの支援を受けることにした。それで、かねてから懸案だったボルダリングウォールを、施工トレーニングとして、AWの北側に、初めて自力で作った。材料費、約\$500、施工日数3日。伊藤がラフデザインし、キムスロイが施工リーダーとしてまとめた。



●10月・AW 構造体診断

アントレプリーズ・アジアのデザイナー氏には、現状の構造体も診断していただいた。

- ・森山さんが大変心配していたコンパネボードを止めている、角材、ハンセンは、当面OK。
- ・建柱3段目以上が上昇風圧で1cmほど上がった形跡あり、数箇所補強(ブレース)が必要。すでに歪んだ部分を含めて、歪みが確認されたら、ブレース等で補強すること。
- ・溶接跡の腐食箇所は”接木”対応でOK。
- ・定期点検は欠かさず、コトの前兆を見逃さないこと。



●11月・AW関連、補修工事

アンコールカップの開催に合わせて、ラップシートを追加、陽射しよけとした。

●11月・プノンペン・プロジェクト

プノンペンのオリンピック・スタジアムのリニューアルに伴う、国際規模のクライミングウォール組み込みプロジェクトに関して、プノンペンにカンボジア人クライマーを育てる母体チームが必要ではないかと、オリンピック委員会よりACNIに打診されている。11/22、プノンペンのクライマーの集まりの中心にいるMs. マリー(AW利用会員)と、プノンペンにて会い、意識合わせを行った。また、大規模なウォールの前段階としてAWクラスのウォールがまず必要と意見が、一致した。仮に彼女らをMaryチームと今後呼ぶ。なお、Ms. マリーは、アンコールカップでビレイとファイナルルートセッターチームのテスターをやってくれた。

●12月・新しいタイプのビジター

アンコールカップ開催の近い12/7、高級ホテル、Sofitelの17人のマネージャー候補生に、グループクライミングセッションを行った。GMIは、パートナーの連携が重要なクライミングを通じてチームビルディングをやりたいのだと、事前に話していた。

●ACN-YOUTH関連

新規奨学生



2012/10に高校へ進学した3名のACN_YOUTH、ゲノム・チェンダ16才(写真右端、女子)、ジョー・チェニイ17才(写真中央、男子)、ローム・シナット16才(写真左端、女子)を、本年11月より、ACN奨学生とした。先頃、スムロン、伊藤で家庭面談を実施、保護者の理解と合意を得た。奨学金は「ACN奨学金支給制度」により、11月末より保護者宛て、毎月\$5支給されている。これで、ACN奨学生は、現行のセイハに3名が加わって、合計4名となった。

・ NPO 法人化と会員制度について

次号で特集を予定していますが、様々な局面で法人でないことがプロジェクトを妨げています。活動の継続には NPO 法人化とそれに伴う会員制度の実施は必然となるというのが現在の私たちの認識です。会員制については下記のような試案を理事会に提示してありますが、もうしばらく議論が必要かと思えます。その経緯については、あらためてお知らせします。

*** 会員制試案 ***

- ・会員制開始アナウンス
過去に寄付された方に会員制のお知らせを送る
- ・寄付者から会員への移行
前年度の寄付の合計が10000円以上の方は会員候補とし、今年度の会費を前年度より転用可能とする。
- ・里親
前年度に寄付された方で、その回数が2回以上の方を、伊藤の里親候補とする
里親に同意された里親候補者を里親とする(往復はがき)
- ・入会原則
入会に同意された会員候補者を会員とする(往復はがき)
- ・会費
一般個人年会費、¥5,000
一般法人年会費 ¥100,000
任意団体(非法人)及び、非営利法人年会費 ¥60,000
※年会費納入受付: 随時、年会費納入願い、7~10月に配布
- ・会費等の充当
会費、里親基金はACN運営費に充当する
会員、里親以外の方からの2012年以降の寄付は原則的に、AW再構築費用に充当する
※NPO 法人化は、2013 年前半には実施予定です。ご協力をお願いします。

・ AW 再構築に伴う寄付のお願い

目標額: 500万円、目標期限: 2013 年 3 月 31 日

寄付金(日本円のみ) 専用口座 口座名: アンコールクライマーズネット

・三菱東京 UFJ 銀行 支店名: 調布支店 預金種目: 普通預金 口座番号: 0081781

・ゆうちょ銀行 記号: 10010 番号: 75286831

※他銀行よりの送金の場合

店名: 〇〇八(ゼロゼロハチ=漢数字)、店番: 008、預金種目: 普通預金、口座番号: 7528683

※USドル専用口座は、現在準備中

・ 寄付・寄贈について

2012/12/31 現在までの、寄付金累積総額は、¥4,356,873 + US\$12,490 となりました。また、里親基金累計総額は、¥1,560,000 + US\$1,250 です。ご寄付をいただいた方 59 名様、ご寄贈いただいた方 23 名様、及び里親となっていた方 4 名様となっています。大変ありがとうございました。

2012 年 9 月~12 月までに、ご寄付、ご寄贈、里親出資いただいた方は下記の通りです。なお本お知らせは、email 版ニュースレターと連携して対応する期間に寄付された方のお名前だけを本誌にて、順次お知らせしています。

一 寄付

浅田信一郎様、榎田猛彦様、虎本節子様、高橋千鶴子様、中江恵美子様、栗原俊雄様、安田至宏様、鴨志田智也様、塚内尚子様、伊藤明子様(順不同)

一 里親

堀田圭子様、才原明男様、棚澤健治様、清水不二様(順不同)

一 備品寄贈 ※Angkor Cup の協賛品を除く

(株)ロストアロー様、(株)モンベル様、中江恵美子様、安田至宏様、堀田圭子様、伊藤洋美様、浅井和英様、JWAF 婦人部、清水英昭様(順不同)

また、公式資料類の英文化、英文校正は、Ms.ジェラルディンとさらにモーガン美恵子様にもボランティアでやっていただきました。ここに記して感謝いたします。

★★★ 寄付金用口座 ★★★

■ゆうちょ銀行

記号 10010
番号 75286831
口座名 アンコールクライマーズネット

■三菱東京UFJ銀行

支店名：調布支店
預金種目：普通預金 口座番号：0081781
口座名：アンコールクライマーズネット

Webサイトでもご確認いただけます。
http://www.angkorclimbers.net/can_donation.html

☆☆☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆☆☆

■アンコールクライマーズネット（日本）
伊藤忠男気付
〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506
tel. & fax +81-(0)42-498-2488

■アンコールクライマーズネット（カンボジア）
Angkor Climbers Net (ACN)
tel. +855-(0)77-508653, +855-(0)12-1759970

・郵便住所
POBOX 93044, Siem Reap, Siem Reap, Cambodia

・所在地
c/o Moloppor Café
Wat Bou village, Salakomrauk commune
Siem Reap, Siem Reap, Cambodia

■ email info@angkorclimbers.net



初のクマエ女性インストラクタ →

テレビは粘る。何でも一生懸命取り組む。きちんとした性格で、マネージャー候補だ。前回は優勝したけれど、今回は逃した。でも、このまま引っこ入りではない。

← Made in Cambodia

キムスロイ自作のマクロホールド。業界ではボリュームとも言うそうだが、システム屋の僕(Chu)には、マクロと呼んだ方がイメージが湧く。マクロはコンペで大活躍した。



contents

- 01 YCF開催特集
 - アンコールカップ報告
 - ワークショップ報告
 - アウトドアツアー報告
- 05 活動報告
 - AWトイレ新設工事
 - アダムスクライミングスクール交流会
 - ウォール施工トレーニング
 - AW 構造体診断
 - ポンペン・プロジェクト
 - ACN-YOUTH 関連
- 07 From ACN's Desk 事務局から
 - NPO 法人化と会員制度について
 - AW 再構築に伴う寄付のお願い
 - 寄付・寄贈について

※写真、地図、イラストはすべて ACN オリジナルコンテンツです

editor's note

今号はYCFというよりも、2 回目のコンペ、Angkor Cup の特集です。Angkor Cup の 2 週間前。有森さんの国際ハーフマラソンが開催されました。その折、オリンピック委員会に呼び出され、来年の 12 月に、シエムリアップで、マラソン、クライミング、水泳、その他を組み合わせたトータルイベントをオリンピック委員会主導でやりたいが、君はどう思うかと訊かれました。有森さんの意向は？と訊くと、同じ日本人の君に聞いてもらいたって。怪しい企画ですが、これまで外国主導で何でもやってきたカンボジアです。自立意識の芽生えは歓迎すべきかも。(Chu)

©禁無断転載

アンコールクライマーズネットニュースレター

2012 年 12 月号 NO. 11 2012 年 12 月 31 日発行

非売品

発行人 伊藤忠男

編集人 伊藤忠男

発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506

tel 042-498-2488 fax 042-498-2488

www.angkorclimbers.net